

中小企業動向調査

この調査は富山県内企業419社を対象に実施し、353社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成28年4月～6月の実績、平成28年7月～9月の見込み、平成28年10月～12月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成28年6月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	180	152	84.4%
非 製 造 業	239	201	84.1%
計	419	353	84.2%

日銀が7月19日に公表した、北陸の金融経済月報（2016年7月）によると、「北陸の景気は、一部に鈍さがみられるものの、回復を続けている。企業の景況感は、足もとは総じて良好な水準を保っているものの、先行きは慎重な見方が増えている。

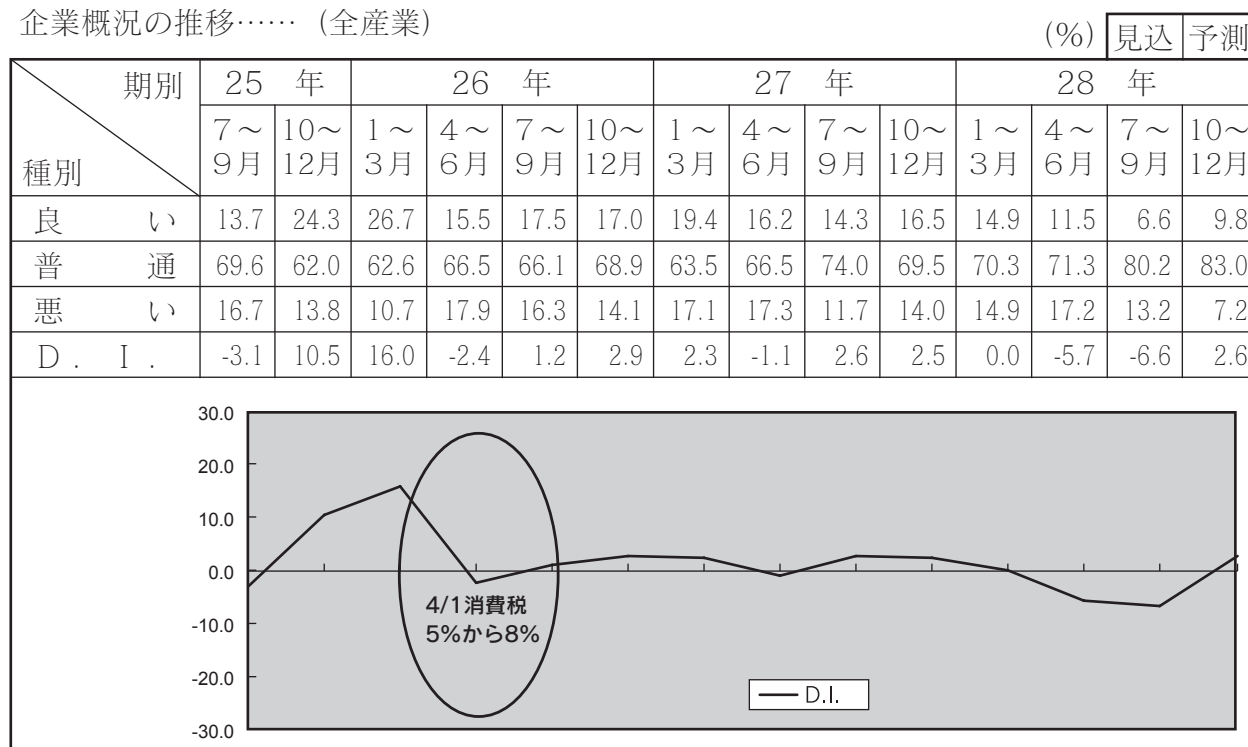
最終需要をみると、個人消費は、高額品の販売など一部に鈍さがみられるものの、持ち直している。住宅投資も持ち直しているほか、設備投資は着実に増加している。また、公共投資は持ち直しに転じている。

当地製造業の生産は横ばい圏内で推移しており、高水準を保っている。業種別にみると、化学は振れを伴いつつも、穏やかに増加している。電子部品・デバイスが高水準で推移している。金属製品は横ばい圏内の動きとなっている。はん用・生産用・業務用機械は下げ止まっている。繊維は弱めの動きとなっている。

雇用・所得環境は着実に改善している。」としている。

I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

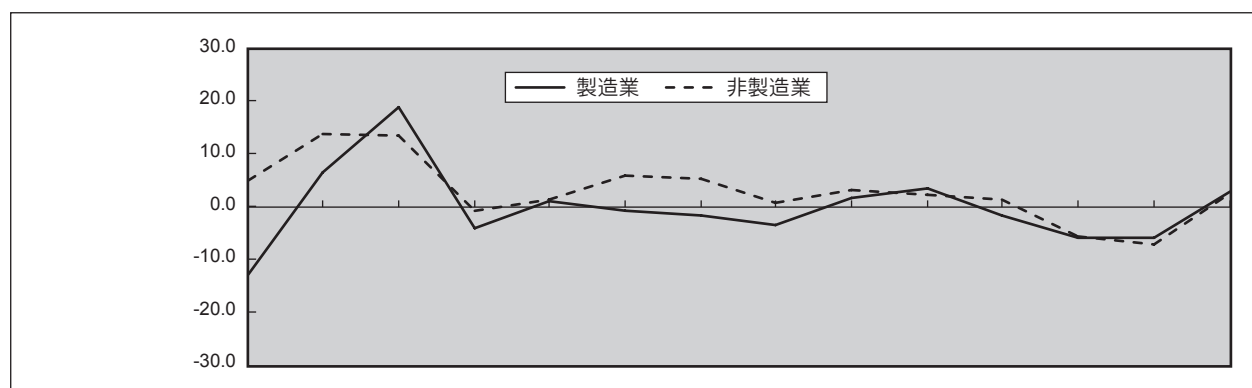


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

期別 種別		25 年		26 年				27 年				28 年				見込	予測
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
良	い	10.5	21.6	28.9	17.6	19.4	15.3	18.8	16.5	14.6	18.3	15.7	13.2	9.3	9.3		
普	通	66.2	63.2	61.2	60.5	62.0	68.5	60.7	63.3	72.4	66.7	66.9	67.5	75.3	84.0		
悪	い	23.3	15.2	9.9	21.8	18.5	16.2	20.5	20.2	13.0	15.1	17.4	19.2	15.3	6.7		
D . I .		-12.8	6.4	19.0	-4.2	0.9	-0.9	-1.8	-3.7	1.6	3.2	-1.7	-6.0	-6.0	2.7		

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

期別 種別		25 年		26 年				27 年				28 年				見込	予測
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
良	い	16.3	26.5	24.8	13.6	16.1	18.2	19.9	16.0	14.1	15.3	14.2	10.1	4.5	10.2		
普	通	72.5	60.9	63.8	72.0	69.1	69.2	65.6	68.7	75.1	71.4	72.9	74.2	83.8	82.2		
悪	い	11.3	12.6	11.3	14.4	14.8	12.6	14.6	15.3	10.8	13.2	12.9	15.7	11.6	7.6		
D . I .		5.0	13.9	13.5	-0.8	1.3	5.7	5.3	0.6	3.2	2.1	1.3	-5.6	-7.1	2.5		



(1) 富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」の28年4～6月期実績は▲5.7と前期比悪化となった。先行きについて、28年7～9月期のD.I.は▲6.6と悪化、28年10～12月期のD.I.は2.6となり、今年度下期からはやや改善するとの予想となった。

前回調査では、先行き悪化予想であり、予想通りの回答となった。

(2) 業況判断指数D.I.の28年4～6月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より4.3ポイント悪化、非製造業は前期より6.9ポイント悪化となり、どの業種も悪化となっている。また、非製造業の悪化ポイントが高かった。

先行き予想では、製造業、非製造業とも、7～9月は悪化予想となっているが、10～12月には、改善予想となっている。

II. 売上高状況

売上高状況

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	25 年		26 年				27 年				28 年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
増加	32.3	43.1	53.0	29.9	31.4	30.0	28.3	28.2	28.0	27.3	26.8	21.3	19.9	18.3
横ばい	45.9	39.9	33.2	43.4	43.3	43.1	41.5	45.1	47.7	45.1	47.5	49.7	58.5	64.3
減少	21.7	17.5	13.8	26.7	25.3	27.0	30.2	26.8	24.2	27.6	25.7	29.0	21.6	17.4
D. I.	10.5	28.6	39.3	3.2	6.1	2.9	-1.9	1.5	3.9	-0.3	1.1	-7.7	-1.7	0.9

売上高状況 (うち製造業のみ)

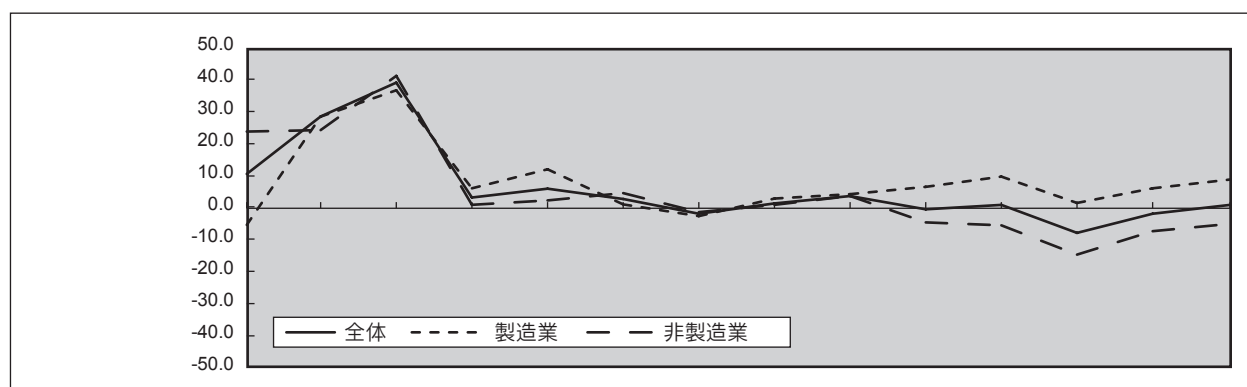
(%) 見込 予測

種別 \ 期別	25 年		26 年				27 年				28 年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
増加	25.3	46.0	53.3	32.2	35.2	29.2	31.3	31.5	30.1	30.0	32.0	28.3	27.2	24.7
横ばい	44.0	36.5	30.3	41.5	41.7	42.5	34.8	39.6	43.9	44.2	45.9	44.7	51.7	59.3
減少	30.6	17.5	16.4	26.3	23.1	28.3	34.0	28.8	26.1	24.9	22.1	27.0	21.2	16.0
D. I.	-5.2	28.6	36.9	5.9	12.0	0.9	-2.7	2.7	4.1	6.2	9.8	1.3	6.0	8.7

売上高状況 (うち非製造業のみ)

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	25 年		26 年				27 年				28 年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
増加	38.2	40.8	52.9	27.8	28.7	30.5	26.2	26.0	26.7	24.7	22.7	16.0	14.4	13.5
横ばい	47.5	42.8	35.7	45.1	44.4	43.5	46.4	48.8	50.3	45.8	48.7	53.5	63.7	68.0
減少	14.4	16.4	11.4	27.1	26.8	26.1	27.4	25.3	23.0	29.5	28.6	30.5	21.9	18.5
D. I.	23.8	24.3	41.4	0.8	2.0	4.3	-1.3	0.6	3.7	-4.7	-5.8	-14.5	-7.5	-5.0



- 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。
今回調査の4~6月のD.I.は、前期より8.8ポイント悪化の回答となった。
売上高状況D.I.は、大幅な悪化となっている。
先行きについては、改善予想となっている。
- 売上高状況D.I.を製造業と非製造業に分けると、どの業種も前期比悪化となっているが非製造業の悪化ポイントは高い。先行きについても、非製造業は、改善予想であるが、マイナスポイントが続いている。

Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

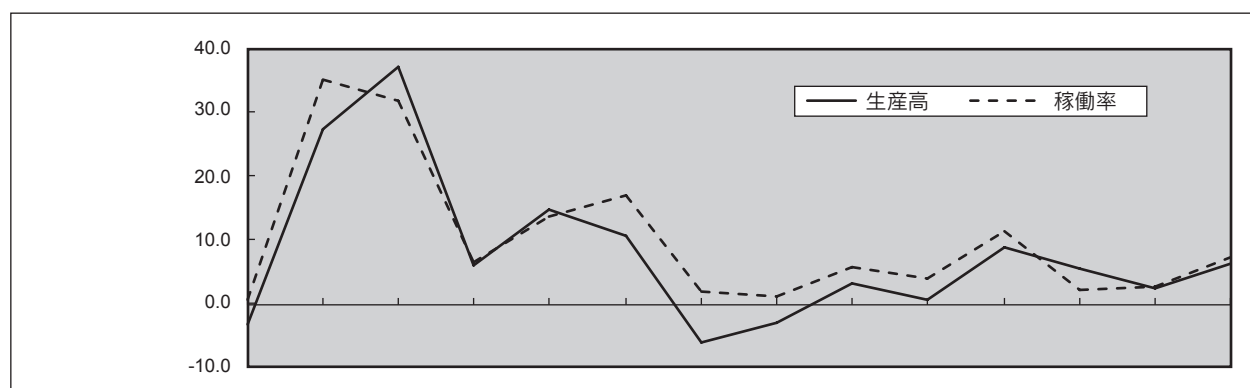
(%) 見込 予測

期別 種別	25 年		26 年				27 年				28 年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
20%以上増加	3.9	7.4	13.6	3.5	5.7	1.8	4.2	5.7	3.2	2.2	4.9	3.8	1.9	2.5
20%未満増加	19.5	33.1	38.1	27.8	27.9	29.2	24.6	21.9	24.8	26.1	26.0	23.9	20.9	19.7
横ばい状況	50.0	46.3	33.9	43.5	47.5	48.7	36.4	41.9	17.2	44.2	47.2	50.3	57.0	61.8
20%未満減少	24.2	11.6	13.6	23.5	17.2	17.7	28.0	27.6	21.6	25.4	14.6	17.0	16.5	15.3
20%以上減少	2.3	1.7	0.8	1.7	1.6	2.7	6.8	2.8	3.2	2.2	7.3	5.0	3.8	0.6
D . I .	-3.1	27.3	37.3	6.1	14.8	10.6	-5.9	-2.9	3.2	0.7	8.9	5.7	2.5	6.4

稼働率（製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	25 年		26 年				27 年				28 年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
上 昇	4.0	8.6	12.9	3.6	5.1	3.8	3.6	5.1	2.5	3.0	4.1	3.3	2.6	2.0
やや上昇	20.0	33.6	33.6	25.0	26.5	29.2	25.2	21.2	24.6	22.7	26.0	21.1	20.5	20.9
横ばい	52.8	50.9	38.8	49.1	50.4	50.9	44.1	48.5	51.6	52.3	51.2	53.3	56.3	61.4
やや下降	20.0	5.2	14.7	20.5	17.1	13.2	21.6	24.2	18.0	20.5	12.2	19.1	19.2	15.0
下 降	3.2	1.7	0.0	1.8	0.9	2.8	5.4	1.0	3.3	1.5	6.5	3.3	1.3	0.7
D . I .	0.8	35.3	31.9	6.3	13.7	17.0	1.8	1.0	5.7	3.8	11.4	2.0	2.6	7.2

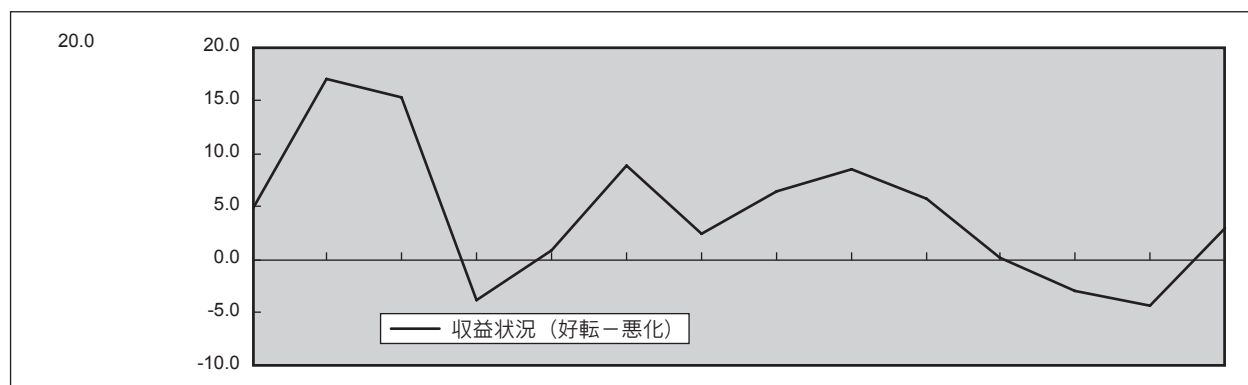


- (1) 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.I.は5.7となり、前期比3.2ポイント悪化した。売上高と、同様の推移となっている。先行きについても、7～9月は悪化予想であるが、10～12月は改善する予想となっている。
- (2) 稼働率についても、今回調査では、前期より9.4ポイント悪化の回答であった。先行きについて、改善をしていく予想となっている。今後の改善を期待する回答となっている。

IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

期別 種別	25 年		26 年				27 年				28 年			
	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～
	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
好 転	19.3	28.5	29.9	14.6	20.8	23.8	23.2	23.2	22.8	22.7	19.4	16.6	12.0	16.0
横 ば い	66.1	60.1	55.3	66.8	59.2	61.0	55.9	59.9	62.7	60.1	61.2	63.7	71.6	70.8
悪 化	14.6	11.4	14.8	18.6	20.0	15.2	20.9	16.9	14.5	17.1	19.4	19.7	16.3	13.2
D . I .	4.7	17.1	15.2	-4.0	0.8	8.7	2.3	6.3	8.4	5.6	0.0	-3.1	-4.3	2.9



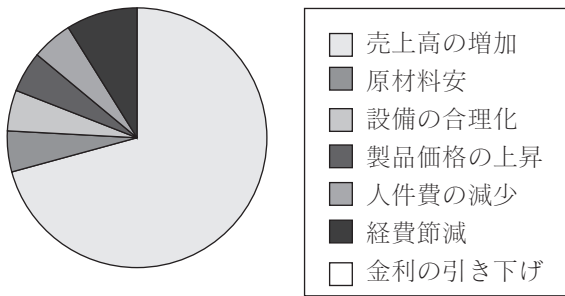
好転理由

期別 種別	25 年		26 年				27 年				28 年			
	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～
	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
売上高の増加	72.5	82.1	83.0	68.6	74.0	69.8	70.3	58.8	64.9	78.6	61.6	70.9	63.6	66.2
原 材 料 安	0.0	1.1	0.0	3.9	1.3	4.7	2.7	3.8	8.5	10.7	13.7	5.1	7.6	5.4
設備の合理化	4.3	3.2	2.3	5.9	3.9	5.8	6.8	7.5	2.1	0.0	2.7	5.1	6.1	2.7
製品価格の上昇	5.8	2.1	0.0	9.8	9.1	4.7	1.4	6.3	1.1	1.2	5.5	5.1	9.1	9.5
人件費の減少	4.3	4.2	2.3	2.0	2.6	4.7	4.1	3.8	6.4	1.2	2.7	5.1	3.0	4.1
経 費 節 減	13.0	7.4	11.4	5.9	9.1	9.3	10.8	17.5	16.0	7.1	12.3	8.9	9.1	10.8
金利の引き下げ	0.0	0.0	1.1	3.9	0.0	1.2	4.1	2.5	1.1	1.2	1.4	0.0	1.5	1.4

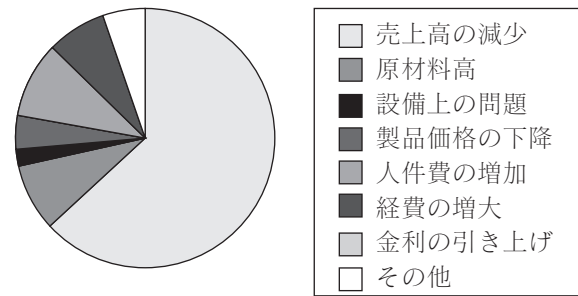
悪化理由

期別 種別	25 年		26 年				27 年				28 年			
	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～
	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
売上高の減少	48.4	53.5	55.4	51.4	51.4	52.5	58.8	56.3	64.3	73.4	59.3	63.2	63.9	59.5
原 材 料 高	19.4	20.9	10.7	18.6	24.3	16.9	8.8	12.5	8.9	12.5	7.0	8.4	6.0	1.4
設備上の問題	6.5	0.0	0.0	1.4	1.4	3.4	4.4	4.7	0.0	0.0	0.0	2.1	2.4	2.7
製品価格の下降	4.8	7.0	8.9	5.7	4.3	8.5	4.4	4.7	5.4	3.1	8.1	4.2	6.0	8.1
経 費 の 増 大	6.5	14.0	14.3	11.4	11.4	5.1	17.6	7.8	8.9	6.3	10.5	9.5	7.2	10.8
人件費の増加	8.1	0.0	3.6	8.6	4.3	6.8	0.0	0.0	1.8	3.1	4.7	7.4	8.4	8.1
金利の引き上げ	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そ の 他	4.8	4.7	7.1	2.9	2.9	5.1	4.4	14.1	10.7	1.6	10.5	5.3	6.0	9.5

好転理由



悪化理由



(1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、▲3.1となり前期比悪化した。

先行きについては、7～9月は今回よりさらに悪化を予想しているが、10～12月には2.9ポイントと改善する予想となっている。

(2) 今期収益が好転した理由は、「売上高の増加」が70.9%、次に「経費節減」8.9%となり、以下の理由は、同じポイントであった。

前回調査時より、「売上高の増加」を理由とするポイントが高くなった。

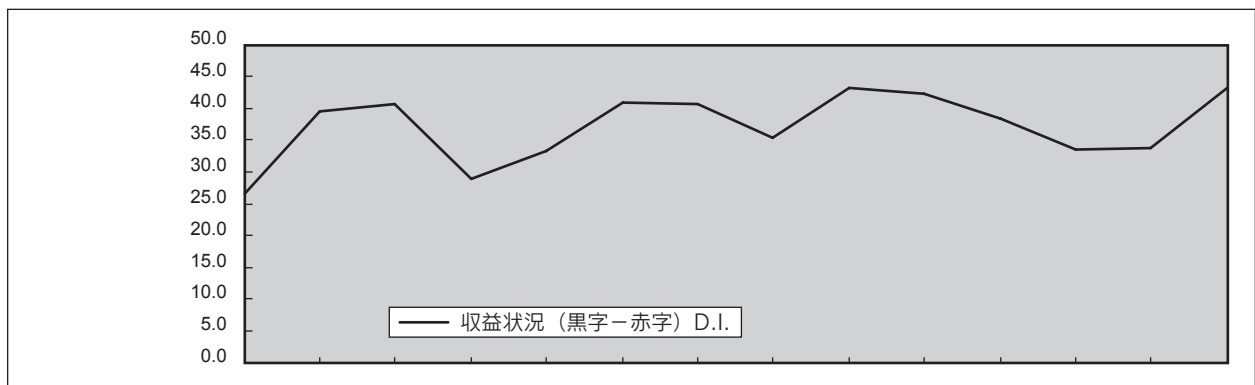
「原材料安」「経費節減」とするポイントは減少となった。

(3) 収益が悪化した理由では、「売上高の減少」63.2%、「経費の増大」9.5%、「原材料高」8.4%の順になった。

「売上高の減少」「原材料高」「人件費の増加」とする理由が、前期より増加となった。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	期別														見込	予測
	25年		26年				27年				28年					
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
黒字	42.5	53.8	53.5	45.1	49.4	52.8	52.7	50.6	54.1	54.5	51.7	50.1	46.3	49.7		
収支トントン	41.8	31.8	33.7	38.6	34.5	35.1	35.2	34.2	35.1	33.2	34.9	33.1	41.1	73.8		
償却後赤字	15.8	14.4	12.8	16.3	16.1	12.1	12.1	15.2	10.8	12.2	13.4	16.7	12.6	6.5		
D.I.	26.7	39.4	40.7	28.9	33.3	40.8	40.6	35.3	43.3	42.3	38.3	33.4	33.7	43.2		



(4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は33.4となり、前期比4.9ポイント悪化となった。

収益状況は、「黒字」との回答は減少傾向であり、「収支トントン」との回答が増加している。

先行きのD.I.は、改善傾向となっており、赤字を予想する回答は減少してきている。今年度、下期には改善していく予想となっている。

V. 製品在庫水準

製品在庫水準

(%) 見込 予測

期別 種別	25 年		26 年				27 年				28 年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
不足	5.2	4.6	3.2	2.9	4.4	1.5	2.6	2.3	3.2	1.6	1.3	1.4	1.0	1.1
適正	91.3	89.9	90.3	91.3	89.2	91.3	89.7	91.1	88.9	92.5	91.6	91.4	93.0	95.8
過剰	3.6	5.5	6.5	5.8	6.4	7.3	7.7	6.5	7.9	5.9	7.0	7.2	5.9	3.2
D . I .	1.6	-0.9	-3.2	-2.9	-2.0	-5.8	-5.2	-4.2	-4.7	-4.3	-5.7	-5.8	-4.9	-2.1

製品在庫水準（うち製造業のみ）

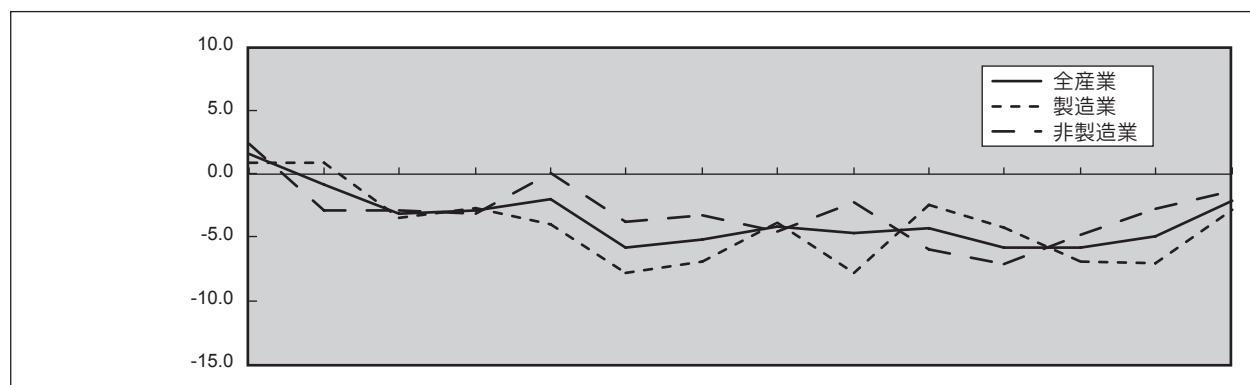
(%) 見込 予測

期別 種別	25 年		26 年				27 年				28 年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
不足	6.3	5.2	3.5	4.5	5.0	2.0	3.9	3.9	4.3	2.5	2.6	2.1	1.4	1.4
適正	88.3	90.4	89.4	88.4	86.0	88.2	85.3	88.3	83.6	92.6	90.4	88.9	90.1	94.4
過剰	5.5	4.3	7.1	7.1	9.0	9.8	10.8	7.8	12.1	4.9	7.0	9.0	8.5	4.2
D . I .	0.8	0.9	-3.5	-2.7	-4.0	-7.8	-6.9	-3.9	-7.8	-2.5	-4.3	-6.9	-7.1	-2.8

製品在庫水準（うち非製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	25 年		26 年				27 年				28 年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
不足	4.0	3.9	2.9	1.0	3.9	1.0	1.1	0.9	2.2	0.8	0.0	0.7	0.7	0.7
適正	94.4	89.2	91.3	94.8	92.2	94.2	94.6	93.7	93.4	92.5	92.9	93.9	95.9	97.2
過剰	1.6	6.9	5.8	4.2	3.9	4.8	4.3	5.4	4.4	6.8	7.1	5.4	3.4	2.1
D . I .	2.4	-2.9	-2.9	-3.1	0.0	-3.8	-3.3	-4.5	-2.2	-6.0	-7.1	-4.8	-2.7	-1.4



(1) 全産業の製品在庫水準「不足-過剰」D.I.は、28年4~6月期は▲5.8となり、前期比0.1ポイント悪化と、在庫は過剰の状態が続いている。

先行きについては、改善予想であるが、依然、「過剰」予想となっている。

(2) 業種別では、今回、製造業の在庫過剰とするポイントが高くなっている。

非製造業も在庫過剰とのポイントが高いが、いずれも、先行きは、改善予想であった。

過剰のポイントが高かったのは、製造業では「繊維」「木工建具」であり、非製造業では、「自動車販売」「機械工具販売」が上がっている。

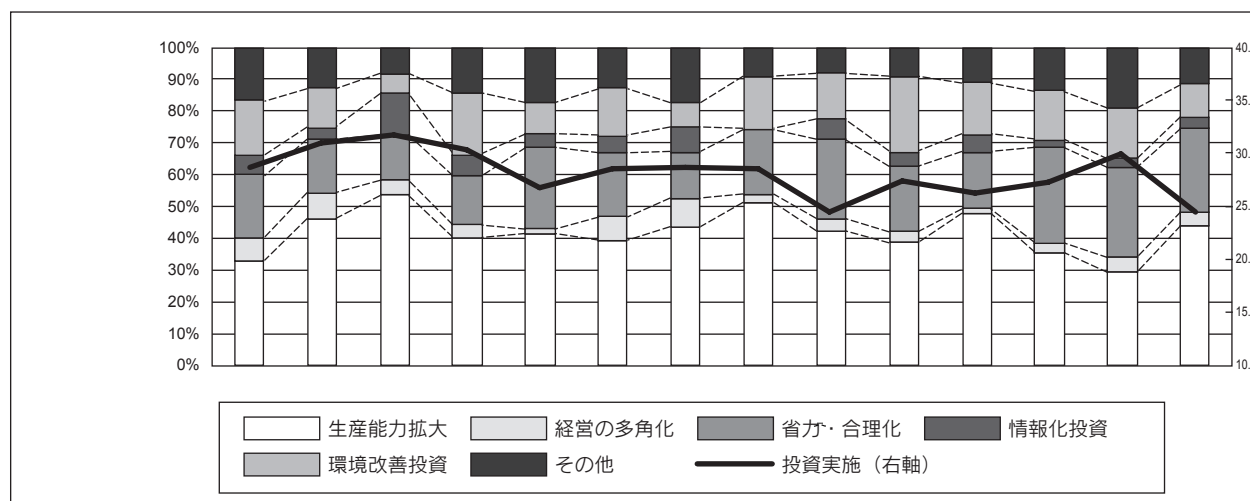
VI. 設備投資動向

設備投資の有無

期別 種別	(%)													
	25 年		26 年				27 年				28 年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
投資実施	28.7	31.0	31.8	30.3	26.7	28.5	28.7	28.5	24.5	27.4	26.2	27.2	30.0	24.6
投資せず	71.3	69.0	68.2	69.7	73.3	71.5	71.3	71.5	75.5	72.6	73.8	72.8	70.0	75.4

設備投資の目的（実施先について）

	(%)													
生産能力拡大	32.9	46.0	53.6	40.3	41.4	39.2	43.4	51.3	42.1	38.6	47.9	35.4	29.2	43.7
経営の多角化	7.1	8.0	4.8	3.9	1.4	7.6	9.2	2.6	3.9	3.4	1.4	3.1	4.7	4.6
省力・合理化	20.0	17.2	14.3	15.6	25.7	20.3	14.5	20.5	25.0	20.5	17.8	30.2	28.3	26.4
情報化投資	5.9	3.4	13.1	6.5	4.3	5.1	7.9	0.0	6.6	4.5	5.5	2.1	2.8	3.4
環境改善投資	17.6	12.6	6.0	19.5	10.0	15.2	7.9	16.7	14.5	23.9	16.4	15.6	16.0	10.3
その他	16.5	12.6	8.3	14.3	17.1	12.7	17.1	9.0	7.9	9.1	11.0	13.5	18.9	11.5



(1) 今回調査では、設備投資を実施した企業は全回答先の27.2%と、前回調査時より1ポイント増加した。先行きについては、7~9月は30%、10~12月は24.6%が設備を行う予定となっている。

設備投資の目的別では、「生産能力拡大」が最も多いが、前回調査よりやや減少した。しかし、「省力・合理化」を目的とする設備は12.4ポイント増加となった。

(2) 業種別で、設備投資をしたとするポイントの高いのは、製造業では「医薬品製造」「電子部品製造業」となっている。

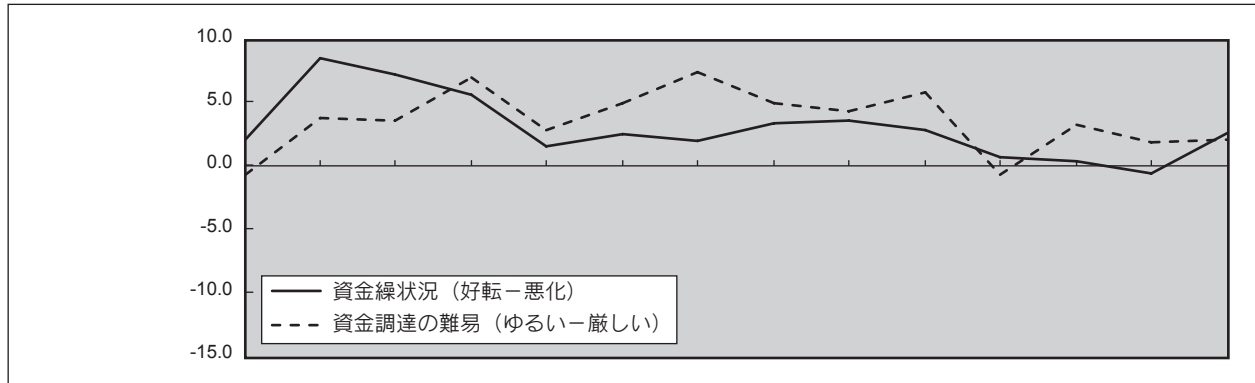
非製造業では、「宿泊業」「不動産業」が高いポイントであった。

VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	25 年		26 年				27 年				28 年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
好 転	8.8	13.9	14.1	10.4	10.0	7.9	9.5	12.4	10.3	9.1	9.0	8.6	6.6	8.3
変 わ ら ず	84.4	80.8	79.1	84.9	81.6	86.6	83.0	78.5	82.9	84.6	82.3	83.1	86.3	86.0
悪 化	6.8	5.3	6.8	4.8	8.4	5.4	7.6	9.1	6.8	6.3	8.2	8.3	7.1	5.7
D . I .	2.0	8.5	7.2	5.6	1.5	2.5	1.9	3.3	3.5	2.8	0.7	0.3	-0.6	2.6



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

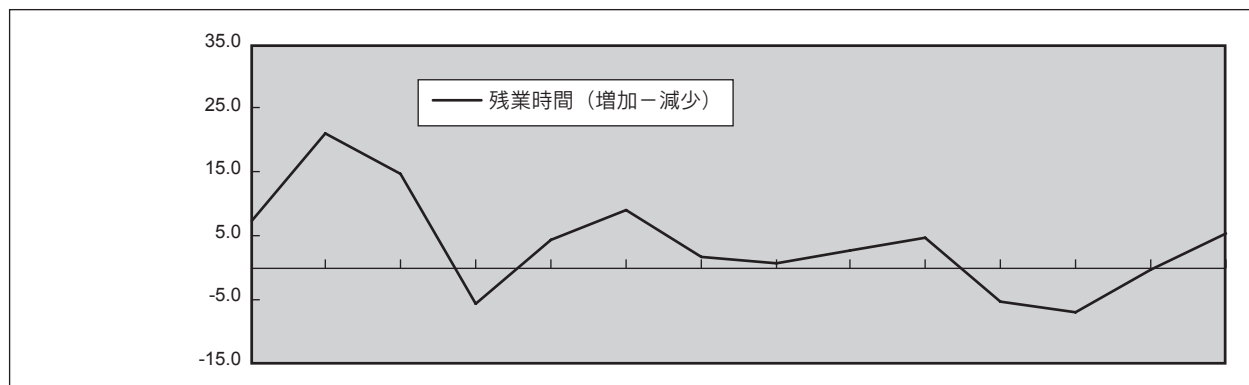
期別 種別	25 年		26 年				27 年				28 年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
ゆ る い	11.1	14.8	14.3	14.6	11.2	13.1	13.6	13.2	11.3	10.2	7.0	10.7	10.5	10.5
厳 しく ない	77.1	74.2	74.8	77.7	80.3	78.7	80.2	78.5	81.7	85.4	85.2	81.7	80.7	81.0
厳 し い	11.8	11.1	10.9	7.7	8.4	8.2	6.2	8.3	7.0	4.4	7.7	7.5	8.8	8.5
D . I .	-0.7	3.7	3.5	6.9	2.8	4.9	7.4	4.9	4.3	5.7	-0.7	3.2	1.8	2.0

- (1) 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は0.3となり、前期比0.4ポイント悪化となった。先行きについては、D.I.は7～9月はマイナスポイントとなり、悪化を予想している。しかし、10～12月のD.I.は2.6とプラスポイントとなり、改善予想となった。
- (2) 資金調達の難易D.I.は、3.2となり、前期比改善となった。先行きについては、やや悪化予想であるが、プラスポイントであり、「ゆるい」「厳しくない」との回答が多い。
業種別では、製造業の「電子部品製造」「アルミ製品」製造が厳しいとのポイントが高く、非製造業では、「不動産業」「運送業」のポイントが高くなっている。

VIII. 労務事情

残業時間

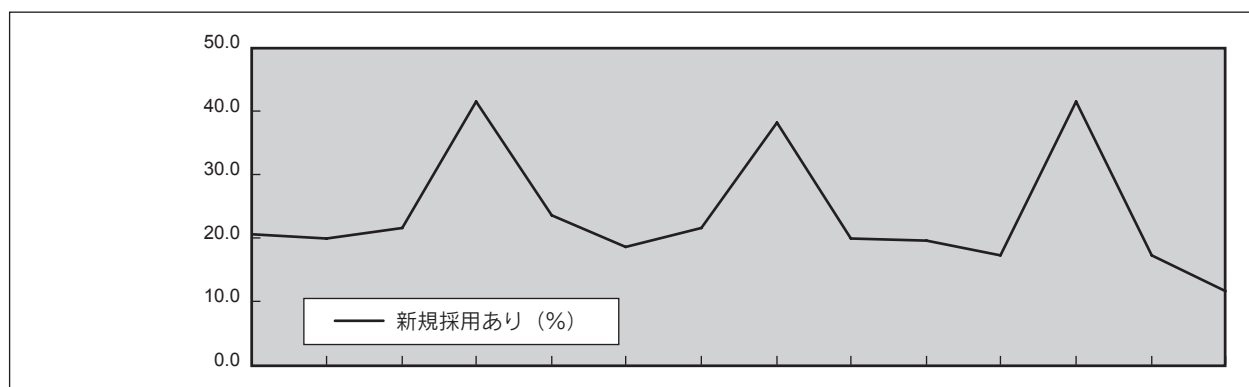
期別 種別	(%) 見込 予測													
	25 年		26 年				27 年				28 年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
増加	15.4	26.3	23.6	8.8	13.1	17.5	13.9	11.5	13.7	13.9	11.1	7.5	8.5	12.2
横ばい	76.6	68.6	67.5	76.8	78.1	74.1	73.9	77.5	75.0	76.7	72.2	78.1	82.8	80.9
減少	8.1	5.1	8.9	14.5	8.9	8.4	12.2	11.1	11.3	9.4	16.7	14.4	8.8	6.9
D . I .	7.3	21.2	14.6	-5.7	4.2	9.1	1.7	0.4	2.5	4.5	-5.6	-6.9	-0.3	5.3



- (1) 残業時間D.I.は28年4~6月期▲6.9となり、前期比1.3ポイント減少した。
 残業時間は、前回調査より減少したとの回答となった。
 しかし、先行きの10~12月は増加する予想となっている。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

期別 種別	(%) 見込 予測													
	25 年		26 年				27 年				28 年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
全産業	20.3	19.6	21.2	41.5	23.4	18.5	21.2	38.0	19.6	19.3	17.2	41.4	17.0	11.6
(うち製造業)	20.0	18.1	23.8	45.5	25.9	23.7	20.7	40.9	22.8	22.5	20.3	42.8	19.7	12.5
(うち非製造業)	20.5	20.9	19.0	37.9	21.6	14.8	21.6	36.0	17.6	17.2	14.7	40.3	14.9	10.9

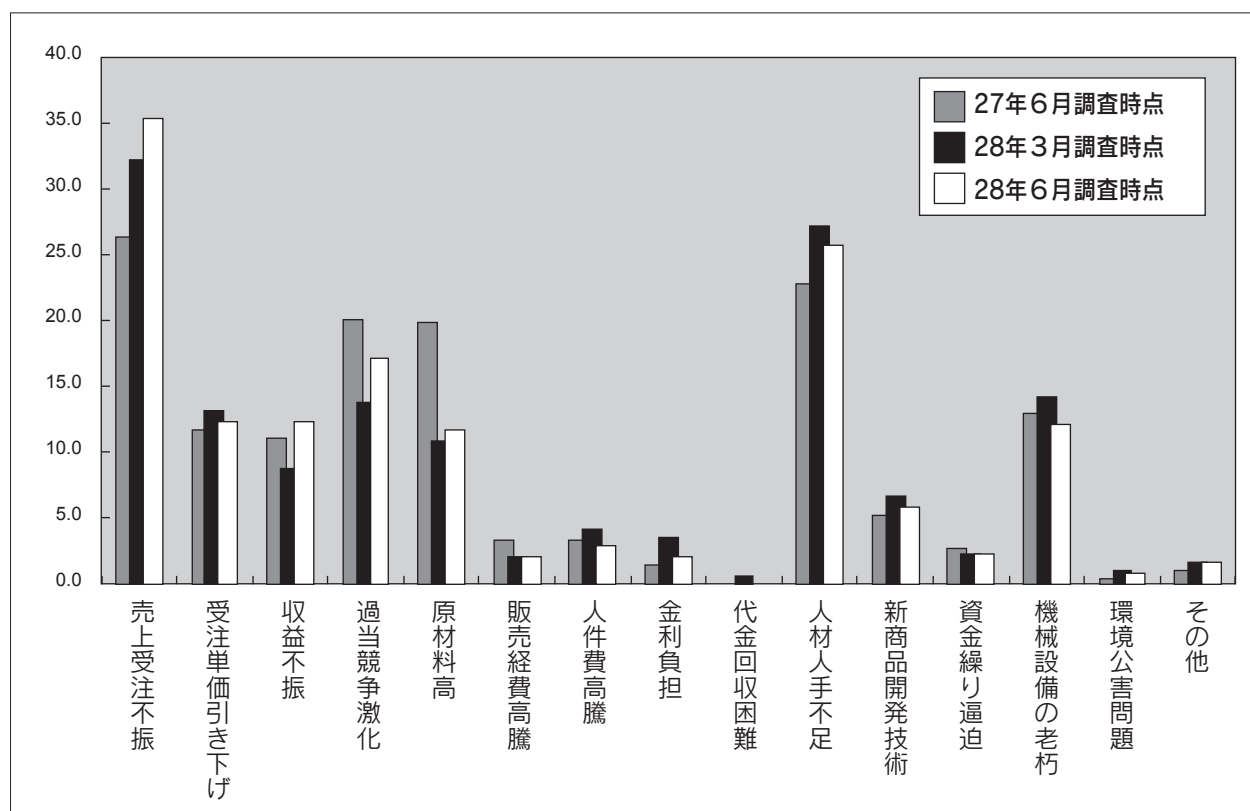


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。
 前年同期より、採用は増加した。どの業種も増加となっており、製造業で3.4ポイント
 非製造業で4.3ポイント前年同期比増加している。

IX. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	27年6月 (前年同期)	28年3月 (前回)	28年6月 (今回)	28年6月		前回は増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	29.6	36.2	39.7	(36.2)	(42.3)	3.5
受注単価引き下げ	13.1	14.7	13.9	(13.8)	(13.9)	-0.8
収益不振	12.4	9.7	13.9	(13.8)	(13.9)	4.2
過当競争激化	22.6	15.4	19.3	(11.8)	(24.9)	3.9
原材料高	22.3	12.2	13.0	(17.8)	(9.5)	0.8
販売経費高騰	3.6	2.2	2.3	(3.9)	(1.0)	0.1
人件費高騰	3.6	4.7	3.1	(3.9)	(2.5)	-1.6
金利負担	1.5	3.9	2.3	(2.6)	(2.0)	-1.6
代金回収困難	0.0	0.7	0.0	(0.0)	(0.0)	-0.7
人材人手不足	25.5	30.5	28.9	(22.4)	(33.8)	-1.6
新商品開発技術	5.8	7.5	6.5	(13.8)	(1.0)	-1.0
資金繰り逼迫	2.9	2.5	2.5	(2.0)	(3.0)	0.0
機械設備の老朽	14.6	15.8	13.6	(19.1)	(9.5)	-2.2
環境公害問題	0.4	1.1	0.8	(2.0)	(0.0)	-0.3
その他	1.1	1.8	1.7	(1.3)	(20.0)	-0.1



- 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振39.7%（前期比+3.5ポイント）、②人材人手不足28.9%（前期比▲1.6ポイント）③過当競争激化19.3%（前期比+3.9ポイント）の順になっている。
- 今回調査では、前期比最もポイントが高く変化したのは「収益不振」であり、4.2ポイント増加した。減少ポイントの多かったのは「機械設備の老朽」▲2.2ポイントであった。
- 業種別の特徴として、製造業では「機械設備の老朽」「原材料高」「新商品開発技術」が非製造業より高いポイントであり、非製造業では「人材人手不足」「過当競争激化」が製造業より高いポイントとなっている。

X. イギリスがEUからの離脱を決めたことによる影響について

イギリスが、国民投票で欧州連合（EU）からの離脱を決めたことによる事業への影響について回答を求めた。

項 目		見込 予測 (%)		
		28年4～6月	28年7～9月	28年10～12月
売 上 高	影響あり	1.5	5.4	7.3
	影響なし	98.5	94.6	92.3

(1) 売上高に影響があった企業は1.5%あり、影響のあった企業は少なかった。

先行きについては、影響があると予想される企業比率は増加しており、今後の影響を懸念している企業が、あると見られる。